



市議会だより

No.239

編集者 六島 久子
西川 巖穂・竹内 忍一
島 晃・柿原 真生

発行所
吹田市泉町1丁目3番40号
吹田市議会事務局
代表電話 06-6384-1231
直通電話 06-6384-2696



オープンに向けて建設が進むこども支援交流センター(片山町2丁目)

今後4年間の施政方針をたどす

こども支援交流センター条例を制定



統一地方選挙後、初めての定例会である7月定例会が、7月25日から8月13日までの会期で開かれました。

市長から今後4年間の市政運営の基本となる「施政方針」が示され、各会派の代表が施政方針を中心に市政全般についての代表質問を行いました。

また、こども支援交流センターを設置するための条例など8件の条例案を始め、平成19年(2007年)度の一般会計補正予算案や人事案件など、市長から提出された議案は、すべて可決されましたが、市の組織改正を行うための事務分掌条例の改正案は、審議の過程で原案の一部が修正されました。

なお、平成18年(2006年)度の水道・病院事業会計決算認定は、継続審査とし、次期定例会までの閉会中に審査することになりました。

予 算

1 一般会計

平成19年(2007年)度一般会計予算は36億6517万円が補正され、総額が1059億9863万円となりました。

補正の主な内容は、庁内データ総合共有活用システムの再構築などに係る経費に6817万円、高野台サブ近隣センター内に千里ニュータウン地域包括支援センターを整備する事業に806万円、こども支援交流セン

主 な 条 例

こども支援交流センター 条例

子供の尊厳と自由が等しく尊重され、安心して住み続けることができるまちの実現のため、一人一人の子供に応じた福祉的、教育的及び医療的側面からの総合的な援助(療育)を行うとともに、その保護者を支援する拠点として、こども支援交流

ターにおける地域療育事業及び同センターの施設管理費に1463万円、(仮称)千里山竹園児童センター建設用地購入費などに1億8636万円、北工場の建て替えに係る新工場の建設に2億7454万円、環境省が策定するエコアクション21の認証を取得する市内中小企業への補助金交付事業に1000万円、小学校の通学路の安全確保を図るため路側帯などの外側にグリインウォークを設置する事業に1445万円、マンホールトイレなど災害時対応設備が設置された(仮称)山田駅前ボケットパークの整備事業に1336万円、小・中学校の校舎及び屋内運動場の耐震診断事業に3465万円、中学校に配置している英語指導手の増員のための経費に718万円、祝日を中心とした図書館の開館日の拡充事業に282万円、冬季の中学校運動場ナイター施設開放事業に45万円などです。

2 特別会計

下水道会計では、公共下水道事業再評価事業に1298万円、南吹田下水処理場処理棟の内装改修に係る経費に1億500万円など、計1億2428万円を計上しています。

センターを設置するものです。本年11月に開設される予定です。

旧中西家住宅(吹田吉志部文人墨客迎賓館) 条例

国の登録有形文化財であり、また、吹田市指定有形文化財である旧中西家住宅を保存し、その価値をいかした活用を図ることにより、地域の伝統文化の継承や新たな文化の創生に寄与するために、旧中西家住宅(吹田吉

円が補正されました。介護保険会計では、口腔機能向上及び栄養改善事業の実施に37万円が補正されました。

契約の締結

庁内データ総合共有活用システム機器購入

ノートパソコン135台等を購入します。ネットワークを介した、全庁的なデータ共有システム等を活用するために導入していたパソコン等の既存機器を更新し、更なる業務の効率化、迅速化を図るものです。購入金額は、5377万円です。

公共下水道事業雨水レベルアップ整備工事豊津第2工区

市南部の低地帯で発生する浸水被害の対策として進める雨水レベルアップ整備工事の一環で下水道管及びマンホールを整備

企業決算審査特別委員会を設置

平成18年(2006年)度の水道・病院の事業会計の決算認定が7月定例会に提出されました。水道会計は、単年度で3億5064万円の赤字で、病院会計

志部文人墨客迎賓館)を設置するものです。本年11月に開設されます。

事務分掌条例の一部改正

市民自治の推進や第3次総合計画の推進、今日的課題への対応等から市の機構の改革を行うもので、市長部局をこれまでの11部1室部に属さない市長室から13部に編成替えをするものです。(賛成多数で可決)

するものです。工事の請負金額は、1億3138万円です。

単行事件

公の施設の指定管理者の指定

岸部中デイサービスセンター、岸部中グループホームの管理を行う指定管理者の指定を行うもので、指定の期間は、いずれも平成19年(2007年)10月1日からの3年間です。

人 事

7月定例会では、次の方々の選任に同意しました。

- 教育委員会委員(任期4年)
青山台2丁目8番2号
道 浦 母都子 氏
- 公平委員会委員(任期4年)
五月が丘北20番18号
児 玉 憲 夫 氏

は単年度で7億8327万円の赤字となっています。

議会では、これらの決算を審査するため、企業決算審査特別委員会を設置し、閉会中に前年度予算の執行状況と効果について審査します。

この審査結果は、次期定例会で報告される予定です。

委員は次のとおりです。

- 委員長 山 根 孝
- 副委員長 吉 瀬 武 司
- 委員 中 本 美 智 子
- 委員 西 川 巖 穂
- 委員 竹 内 忍 一
- 委員 坂 口 妙 子
- 委員 山 本 力
- 委員 豊 田 稔
- 委員 玉 井 美 樹 子